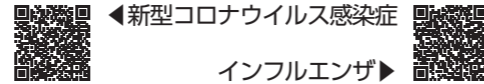


# 今月の Pick Up

編集室がピックアップした旬な話題をお届け！  
詳しくは各ホームページをご覧ください。

## 01 <高齢者対象> 新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの予防接種(定期)開始

新型コロナウイルス感染症およびインフルエンザの予防接種について、接種費用の一部を補助します。なお、接種義務はなく、対象の方への予診票は発送しません。



種類	新型コロナウイルス感染症	インフルエンザ
実施期間	10月1日(水)～令和8年3月31日(火) ※医療機関の休診日を除く	10月1日(水)～12月31日(水) ※医療機関の休診日を除く
接種費用	5,100円(1回) ※金額が変更になる可能性があります	1,100円(1回)
対象者	接種当日に市に住民登録があり、①②のいずれかに該当し、接種を希望する方 ① 65歳以上 ② 60歳以上65歳未満で、心臓、じん臓、呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)による免疫機能に重い障害がある(身体障害者手帳1級相当)	
接種場所	県内の実施医療機関 ※市コールセンター(☎822-8111)または地域保健課HPで確認できます。	
申し込み	実施医療機関へ直接予約 ※予診票は医療機関にあります。	
持参するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>●住所・氏名・年齢が確認できるもの(マイナ保険証など)</li> <li>●受給証明書(生活保護・中国残留邦人等支援給付受給者) ※持参すれば接種費用無料。証明書交付は第一・第二福祉課(☎823-9442)へ。</li> <li>●1級身体障害者手帳(対象者②の方)</li> </ul>	

【問い合わせ】地域保健課 予防接種・感染症対策室 ☎821-6514

## 02 新たにネーミングライツパートナーと愛称が決まりました

民間企業や団体等とのパートナーシップによる公共施設の維持・機能向上をめざして、公共施設に愛称を付ける「ネーミングライツ」の取り組みで、新たに4つの公共施設の「ネーミングライツパートナー」と「愛称」が決定し

ました。10月1日(水)から使用開始となります。全てのネーミングライツパートナーと愛称の一覧は財産政策課HPをご覧ください。

対象施設	ネーミングライツ愛称	ネーミングライツパートナー
知寄公園	コミベーカーリー 土佐あんばん知寄公園	株式会社こみベーカーリー
初月公園	ダイセイ初月公園	株式会社ダイセイ
ヨネッツこうち	HAPPY BASE ヨネッツこうち	株式会社ヤマウチ
おまち多目的広場	だいおうしんよう 大旺新洋おまち多目的広場	大旺新洋株式会社

【問い合わせ】財産政策課 ☎802-5688



災害時への備えといえば、食料や水の備蓄が頭に浮かびますが、トイレの備蓄はできていますか。ないと困るトイレの備蓄。詳しくは特集をご覧ください。

DATE ■ 2025/8/21

### 高知市の SNS



フォローはこちらから▶



「高知の台所」卸売市場の公式アカウント。開市日やテナント募集、イベントに関する情報などを発信しています。開市日の午前8時から是一般の方も車で来場できますので、買い物や食事に、ぜひお立ち寄りください。

### 高知市の人口と世帯

令和7年9月1日現在

人口(前月比) ▶ 30万9,320人(-263人)

男 14万4,678人(-152人)

女 16万4,642人(-111人)

増加 出生150人 転入等480人

減少 死亡325人 転出等568人

世帯(前月比) ▶ 16万3,755世帯(-70世帯)



増加 転入316世帯 その他150世帯

減少 転出292世帯 その他244世帯

## 市らんく 元気人! Vol.31

### 演劇がつないでいくもの



profile ▶▶▶ 岡村 実記 Okamura Miki (50)

高知市出身。劇団「シャカガ」代表。また、高知の演劇団体を結ぶ「高知演劇ネットワーク演会」の代表も務め、「演劇祭 KOCHI」をはじめとする企画で県内外の演劇界を盛り上げている。

「演劇は生もの。目の前で同時にいろんな人が動き、その場でしかできないことがあって、劇場で観客と同じ時間を共有できる」と教えてくれたのは岡村さん。その面白さに魅了され、高校で演劇部に入学してから現在まで演劇に携わってきました。

「多くの人と出会い、関わることができる」ことも魅力の演劇ですが、コロナ禍では稽古すらできない事態に。「大変な時だからこそ人とつながることの大切さを痛感した」。苦心しながら仲間とともに上演を実現した際には、観客から感謝の声が届きました。「演劇はなくても死なない。けど、なければ心が疲弊し、窮屈になる。自分たちの活動が誰かの心に

届き、助けになっていることが嬉しかった」と、ほほ笑みます。

「高知演劇ネットワーク演会」の代表でもある岡村さん。今後は「高知の演劇文化を次世代に継承していきたい」と語ります。最近では、高知大学演劇研究会が「演会」に加入し、大学生とのつながりができました。「高知は娯楽が少ないと言われるが、若い世代にも演劇の楽しさを知ってもらい、高知に残るきっかけの一つになれば」。岡村さんの思いは、高知の演劇文化を未来へとつないでいきます。

▶「演劇祭 KOCHI」のポスター撮影に立ち会う岡村さん(左)。

